

個人投資家向け 会社説明会

2018年10月13日

NDC 日本ドライケミカル株式会社

防災にかかわるあらゆるニーズに ワンストップで応える総合防災企業



商品



防災設備



車輜



メンテナンス

日本ドライケミカルの歩み

第1ステージ 1955年－2001年

創業から上場企業へ

- ◇ 国内初の粉末消火器製造メーカーとして創業
- ◇ 旭硝子株式会社のもと、消火設備、消防自動車と業容拡大
- ◇ 東京証券取引所市場第一部企業に成長

第2ステージ 2001年－2008年

外資系企業として

- ◇ 米国タイコ社のもと、経営改革により採算性の合理化

第3ステージ 2008年－現在

真の総合防災企業に向けて

- ◇ 株式公開により独立経営へ 東証一部へ再上場
- ◇ 積極的なM&A、多様なアライアンスを実施
- ◇ 火報ビジネスへの本格参入
- ◇ 将来に向けた設備投資を拡充

さらなる飛躍へ 第4ステージに向けて

NDCオンリーの消防防災製品&システムを
創造し、お客さまのもとへ

お客さま視点に立ち、
ナンバーワンの総合防災メーカー、
エンジニアリングカンパニーに

百年、2百年、3百年を生き抜く企業へ

事業概要

建築防災設備

高層オフィスビルやさまざまな複合施設に対応、
建物にあわせた最新の防災システムを提供します。

基本的な商流



消防法で設置を定められる消防設備

- ◇ 自動火災報知設備
- ◇ スプリンクラー設備
- ◇ 泡消火設備
- ◇ 二酸化炭素消火設備
- ◇ ハロン1301消火設備
- ◇ 粉末消火設備
- ◇ 屋外/屋内消火栓設備 etc.



プラント防災設備

危険物施設の「安心・安全」を守る、
高い技術力による防災ソリューションをご提供します。

発電所

変電所

石油タンク

危険物
貯蔵所

化学工場

対象物の特殊性・危険性から厳しい品質要求に対応



危険物施設



火力発電所



石油化学コンビナート

特殊防災設備

高い技術力により、経済活動を支える重要な社会インフラの「安全・安心」を守ります。

船舶防災設備

孤立無援の海上火災に備えた、迅速確実な船舶防災システムを提案



大型タンカー



フェリー



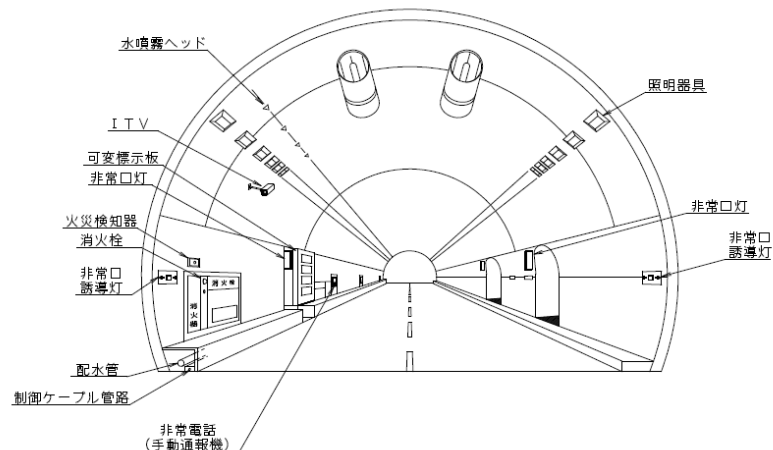
貨物船



コンテナ船

トンネル防災システム

通報設備や消火栓を適正に配置し、スムーズな避難誘導と消火活動

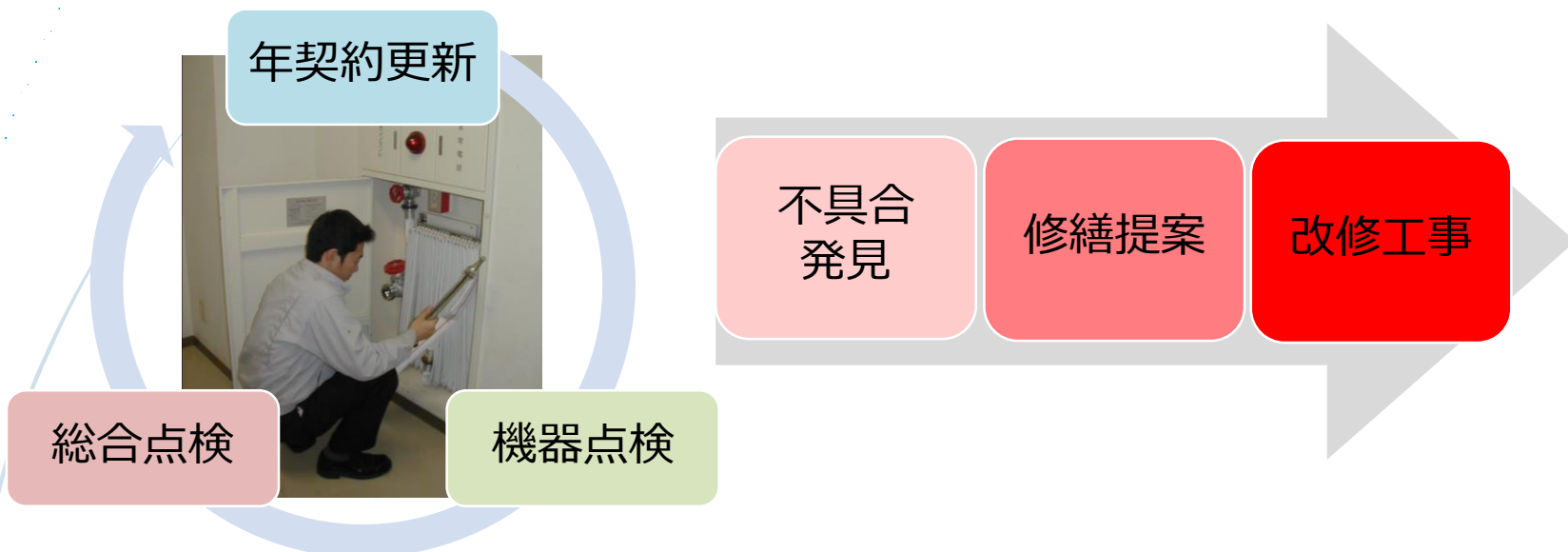


保守点検・改修

プロの視点で防災設備のメンテナンスを実施し、非常時に確実に作動する品質を守り続けます。

ストックビジネス

フロービジネス



年2回の消防点検は義務

ストックビジネスから多くのフロービジネスが生まれます。

消火器

わが国初の粉末消火器を開発したパイオニアです。
幅広いニーズに応えるさまざまな消火器を提供しています。



軽い



耐食性が強い



リサイクルが容易



スーパーアルマックス



非磁性体消火器

日本ドライケミカルの各種消火器

ABC粉末消火器

強化液消火器

二酸化炭素消火器

住宅用消火器

自動車用消火器

防災用品

災害時に役立つ防災・避難用品にも注力しています。

備蓄



避難・救助



避難生活



全国の販売代理店と連携

インターネット販売



販売代理店

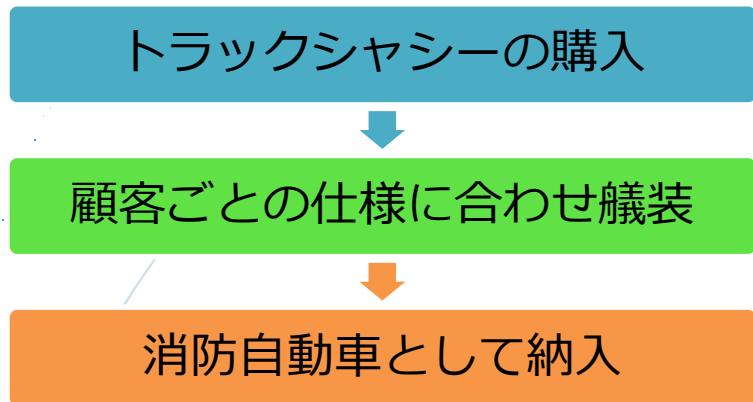
- ・ XTN会 264社
- ・ 全国の防災店

NDC 防災 Online Store

<http://www.rakuten.ne.jp/gold/ndc-group/>

消防自動車

専門的なニーズに、最新の技術で応えます。
消防車には火を消す技術の最先端を結集しています。



業界の市場規模

年度	台数
平成25年度	1,365
平成26年度	1,331
平成27年度	1,151
平成28年度	1,224
平成29年度	1,142

出典：日本消防ポンプ協会「年度別受託個別試験依頼取扱台数」



千葉と福島での2拠点で製造



化学消防ポンプ自動車



粉末専用車

成長戦略

経営課題と経営施策

◇ 経営課題

収益基盤の強化

◇ 目標・成果

製品およびサービスの差別化

独自の防災製品・防災システムを開発

◇ 主要な経営施策

提携先の技術や製品・システムを活用

自火報と消火にかかる技術の融合

アライアンスの強化

研究開発体制の強化

アライアンスの強化

資本業務提携

資本業務提携

空調設備

新日本空調

防犯
セキュリティ
ALSOK

資本業務提携

電気通信

OKI

Distributor
Agreement

海外製品

FireDos
Xtralis
TYCOグループ

松山酸素と50%/50%出資設立

環境消火用ガス

イナートガスセンター

消火用ガスの
回収と再充填

製品供給

火報製品

パナソニック

基本業務提携

消火器

初田製作所

火報ビジネスの強化

- ◆ 自火報メーカーとしての市場認知度を向上させる
- ◆ 自火報市場のシェア拡大で、ナンバーワン企業をめざす



出典：国土交通省「建築着工統計調査」



地図式受信機



2 空間式煙感知器



研究開発体制の強化

戦略製品・システムの開発による他社との差別化

千葉工場 新研究棟

福島工場 総合防災研究棟



可動式昇降天井による消火実験

大空間での屋内放水実験



NDCプレミア90-3K

安心のグレードを高めるプレミアムな消火器



新発売

Premium プレミアム

追求したのは、より確かな安全です。

- ◇ ハイグレードな消火薬剤
「リン酸アンモニウム」を90%以上含有。
- ◇ 再燃防止作用と負触媒作用による高い消火能力

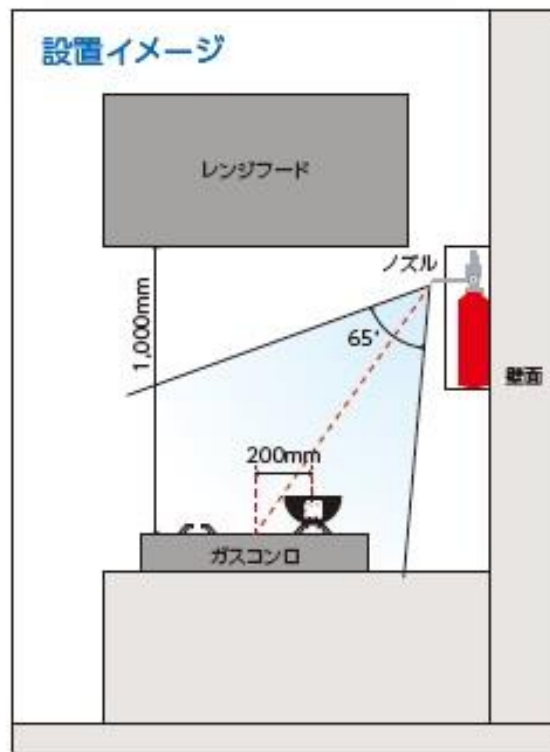
住宅用フードファン付
レンジ用自動消火装置

キッチンファイター

温度センサーによる常時監視
強化液消火器で確実に消火！



- ◆ 温度が60℃に達するとプレアラーム
- ◆ さらに95℃に上昇すると消火薬剤を放出



DRFFE 密集住宅用高所消火装置

密集市街地など狭い路地での消火活動に威力を発揮！



軽量コンパクト
CD-1クラス

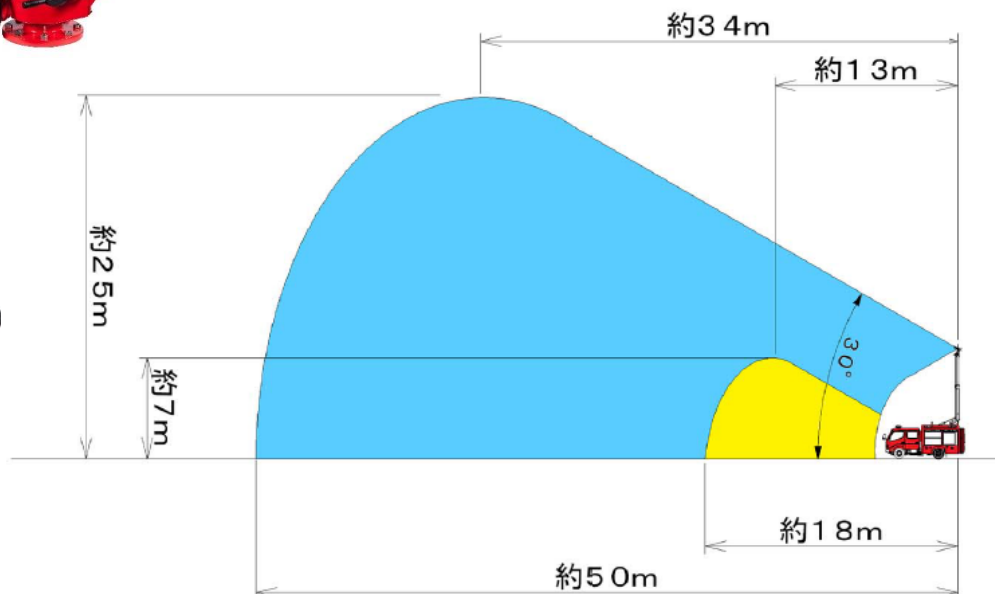
先端カメラ
火点を特定

放水モニター
地上8mから放水

上下左右
広範囲放水



 DRFFE放水範囲
 手持管銃放水範囲



VESDA

超高感度煙検知システムによる予防防災

- ◆ 火災が発生する前の微量な煙を早期に検知。
- ◆ 初期対応の時間を従来品より長く確保できます。



VESDA

検知

確認

対処

煙感知器

感知

確認

対処

VESDAアドレスابل

異常が発生したサーバーをピンポイントで特定



40回線まで接続可能

NEOスプリンクラーRX

既存の建物に、後付けできるスプリンクラー設備



- ◆ 大型設備を設置するスペースが不要
- ◆ 浸潤剤等入り水による高い消火性能
- ◆ 設備機器が少なく、容易に点検が可能

対象施設

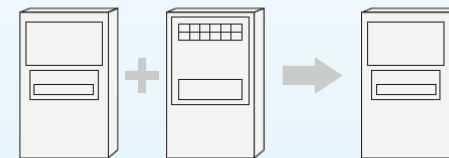
病院・有床診療所、社会福祉施設

NEOスプリンクラーRX用 受信装置の特徴

業界初

自火報用受信機も兼用！

イメージ



2台必要

1台でOK(兼用型)

省スペース

低コスト

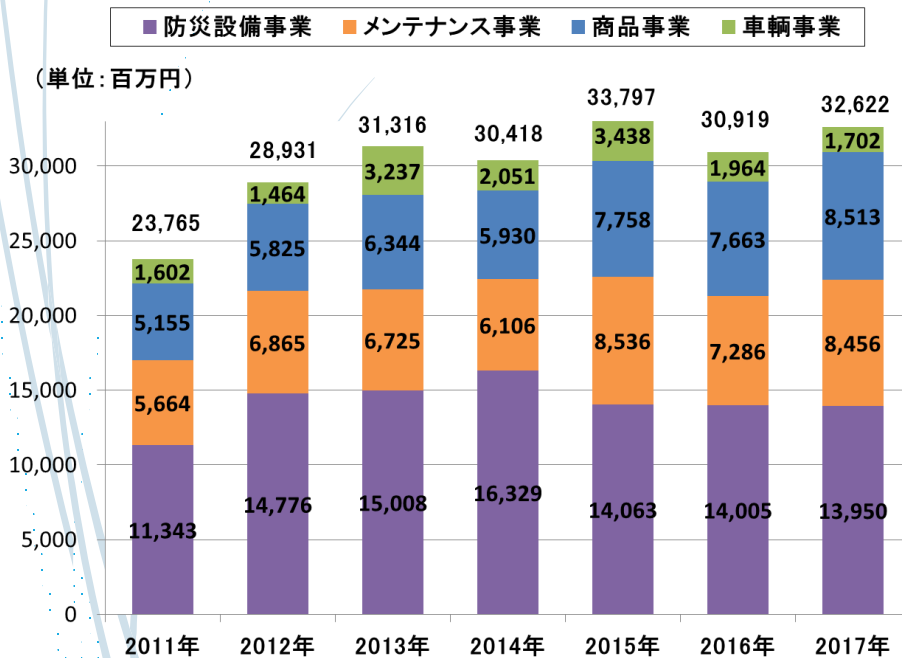
工期の短縮

業績について

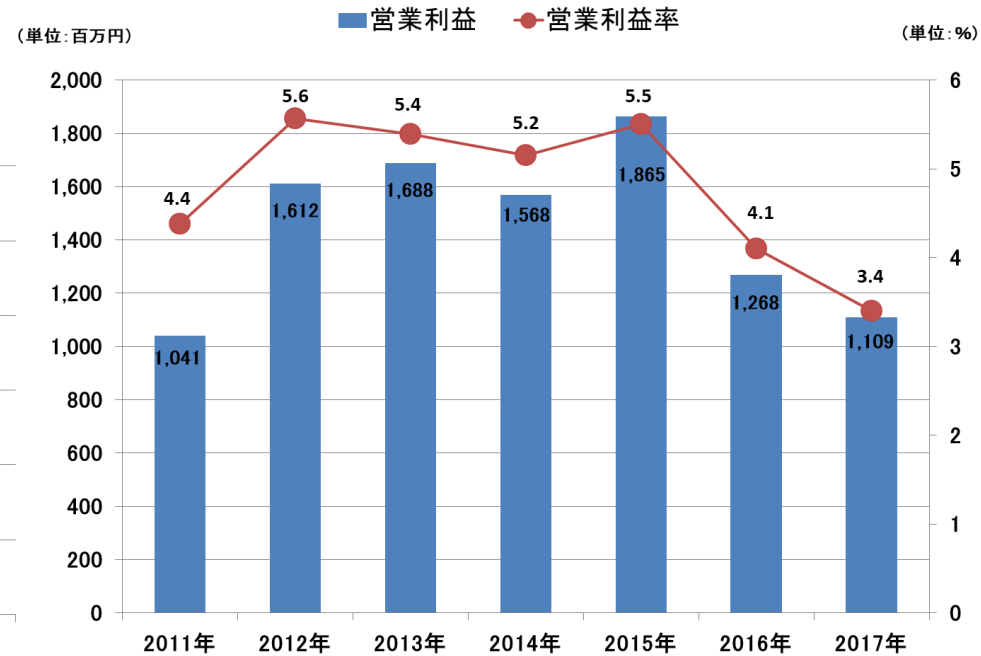
連結業績の推移

平成30年3月期は、メンテナンス事業および商品事業が好調であったことより、前年比、売上高は上回りましたが、将来に向けた研究開発費が増加したことにより、営業利益は下回りました。

売上高

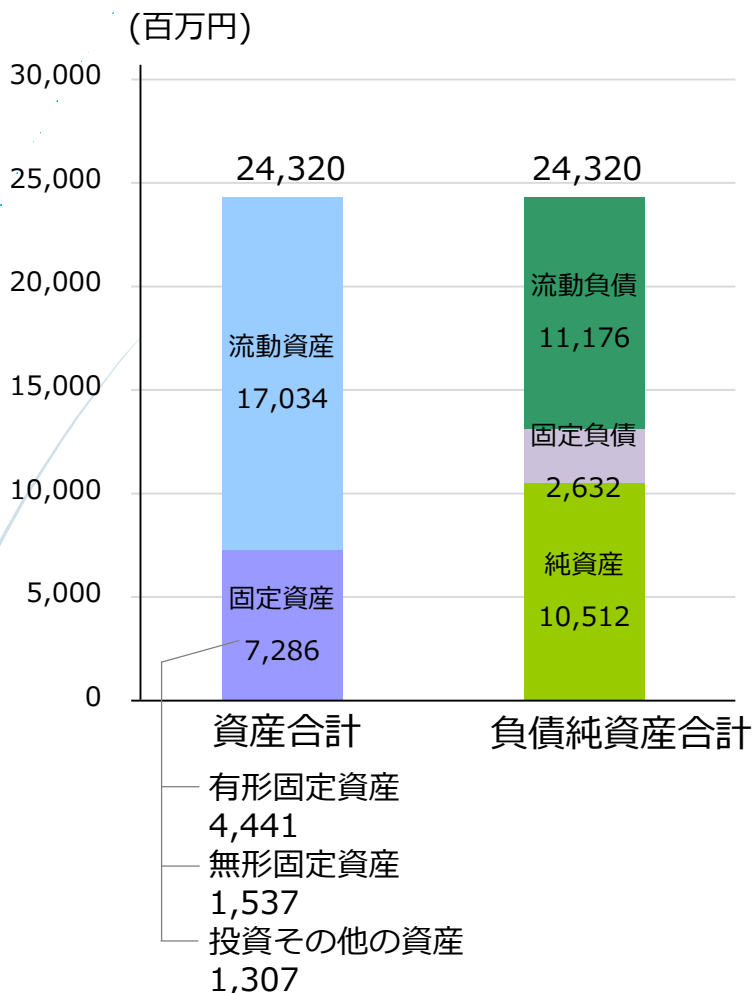


営業利益・営業利益率

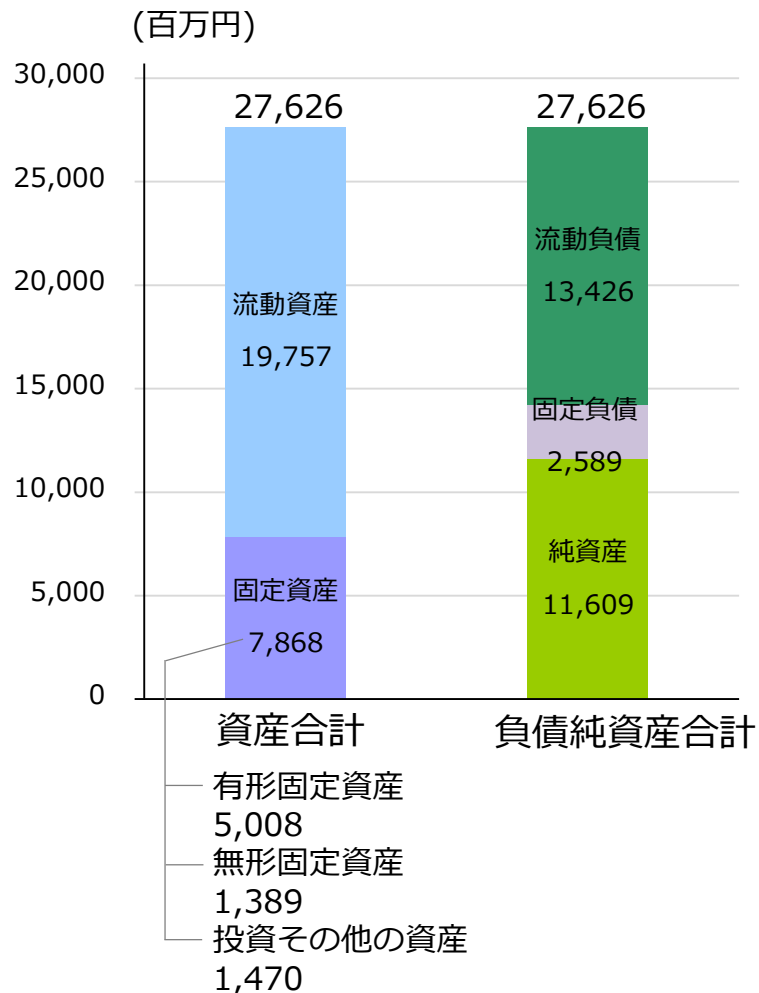


連結貸借対照表

平成29年3月31日



平成30年3月31日



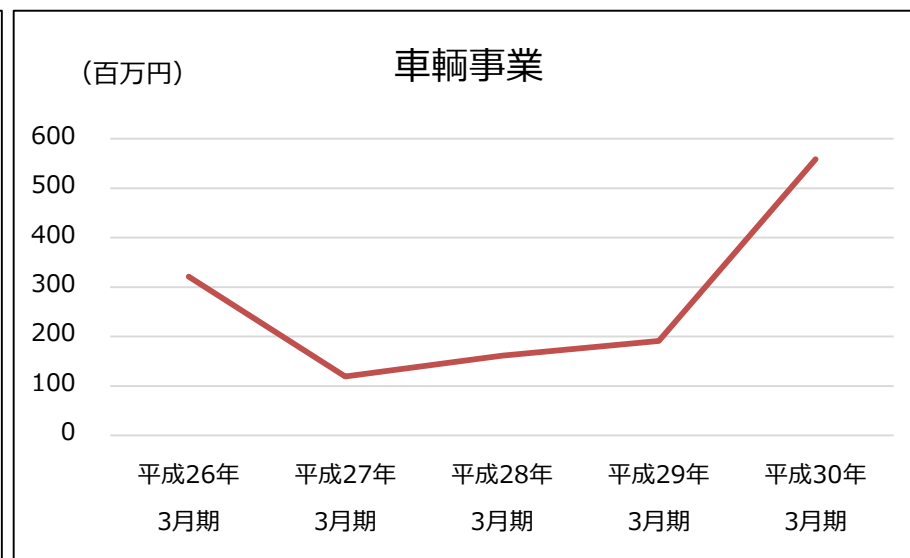
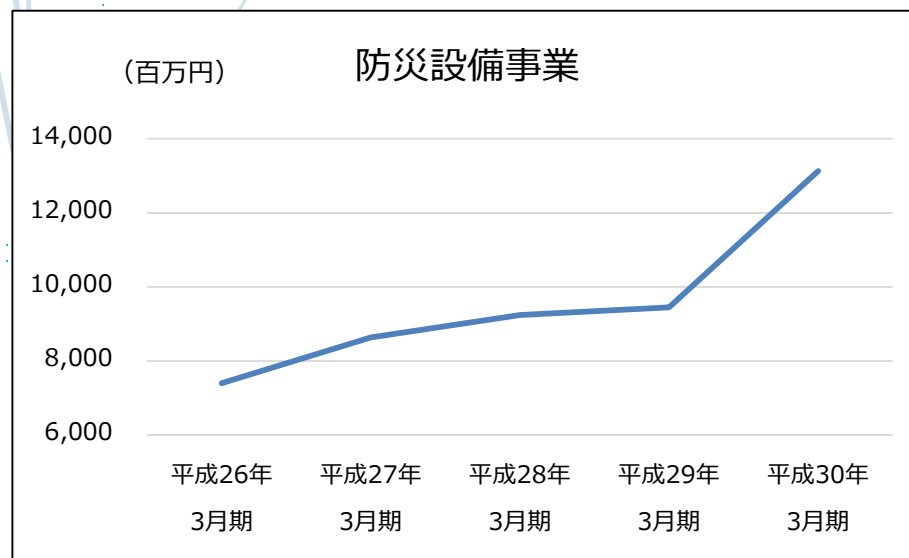
受注残高推移 (連結)

平成30年3月期は、都市再開発等の大型案件、リニューアル案件に係る受注は、引続き好調であり、受注残高は前年同期を上回りました。

(単位：百万円)

	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年 3月期
防災設備事業	7,403	8,635	9,240	9,449	13,132
車輛事業	321	119	161	191	559
合計	7,724	8,754	9,401	9,640	13,691

※メンテナンス事業と商品事業は受注と販売がほぼ同時期に成立するため、受注残高は記載していません。



利益計画

平成31年3月期（連結）

（単位：百万円）

	第2四半期（累計）			通期		
	計画	前期実績	増減率	計画	前期実績	増減率
売上高	14,263	12,097	17.9%	33,500	32,622	2.7%
営業利益	△97	△288	－	1,000	1,109	△9.9%
経常利益	△90	△254	－	1,015	1,160	△12.6%
親会社株主に 帰属する当期 純利益	△88	△245	－	720	1,104	△34.8%

第1四半期実績

前年同四半期比（連結）

（単位：百万円）

	平成30年3月期 第1四半期		平成31年3月期 第1四半期		増減
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額
売上高	5,257	-	7,054	-	1,796
売上総利益	1,111	21.1%	1,577	22.4%	465
営業利益	△284	△5.4%	85	1.2%	370
経常利益	△249	△4.7%	95	1.4%	344
税金等調整前 四半期純利益	△249	△4.7%	85	1.2%	334
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△206	△3.9%	21	0.3%	227

主要な経営指標等

四半期報告書ハイライト（連結）

	平成30年3月期 第1四半期	平成31年3月期 第1四半期	平成30年3月期
純資産額（千円）	10,265,392	11,506,468	11,609,441
総資産額（千円）	21,601,982	24,630,704	27,400,047
1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	△58.34	6.03	311.87
自己資本比率（%）	47.5	46.7	42.4
営業活動によるキャッシュ・フロー（千円）	-	-	1,711,361
投資活動によるキャッシュ・フロー（千円）	-	-	△213,334
財務活動によるキャッシュ・フロー（千円）	-	-	△997,684
現金及び現金同等物の期末残高（千円）	-	-	2,363,297
従業員数（人）	-	-	739

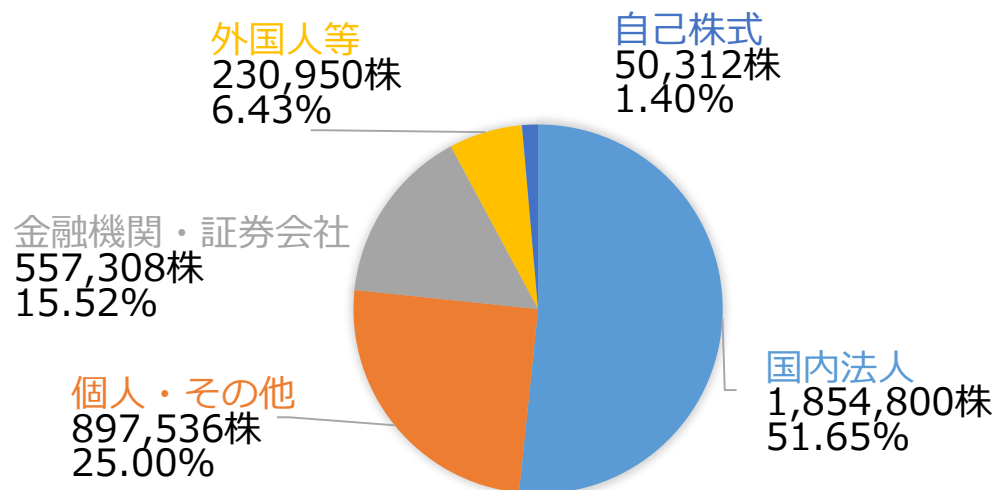
株式情報

株式の状況

平成30年3月31日現在

発行可能 株式総数	14,000,000株
発行済 株式総数※	3,590,906株
株主数	2,828名

※平成30年10月1日に株主分割(1:2)を実施



順位	株主名	所有株数	持株比率
1	総合警備保障株式会社	550,000株	15.53%
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	232,500株	6.56%
3	日本ドライケミカル取引先持株会	133,000株	3.75%
4	株式会社初田製作所	100,000株	2.82%
5	新日本空調株式会社	96,000株	2.71%
6	沖電気工業株式会社	89,000株	2.51%
7	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	83,300株	2.35%
8	株式会社吉谷機械製作所	80,000株	2.25%
9	株式会社東京エネシス	70,000株	1.97%
10	日本ドライケミカル従業員持株会	63,700株	1.79%

資本政策

株式分割

- ◇ 分割割合 1 : 2
 - ◇ 発行済株式総数 株式分割前 3,590,906株
株式分割後 7,181,812株
 - ◇ 基準日 平成30年9月30日
 - ◇ 効力発生日 平成30年10月1日
-

株主優待制度

災害時に役立つ防災・避難用品

9月30日の株主名簿に記載された100株以上を保有している株主様が対象。以下から1点選択。

<p>① <u>スーパールームガード</u></p> <p>簡易消火具</p> 	<p>② <u>救急セットボックス型</u></p> <p>災害時の救急・応急処置に対応した救急セット</p> 	<p>③ <u>保存食5年サポートセット</u></p> <p>1,500ml保存水 アルファ米(五目) ビスコ、きなこ餅</p> 	<p>④ <u>オリジナル缶deポローニャ</u></p> <p>食料備蓄品(3年6ヶ月) デニッシュパン(プレーン味) 2缶セット</p> 	<p>⑤ <u>LED常備灯</u></p> <p>暗所でも位置確認が出来る蓄光プレート付き</p> 
<p>⑥ <u>マイルット mini-10</u></p> <p>非常用のトイレセット 10回分</p> 	<p>⑦ <u>防災用ヘルメット</u></p> <p>サイズ:52.5~62cm</p> 	<p>⑧ <u>こども商品券</u></p> <p>1,000円分</p> 	<p>⑨ <u>オリジナルQUOカード</u></p> <p>1,000円分</p> 	<p>⑩ <u>国内災害義援金</u></p> <p>日本赤十字社を通じて、被災された方々のお手元に届けられます</p>

※上記は2018年度。2018年10月1日に株主分割を実施したため、来年度の株主優待制度については、決定次第お知らせいたします。

Several decorative lines are present on the left side of the slide. There are several thin, light blue curved lines and one dotted line that starts near the top left and curves towards the center. A dark blue arrow-shaped graphic points from the left edge towards the center, containing the number 34.

TOPICS

34

始興金属のグループ会社化

アルミニウム消火器の容器を製造する韓国企業
品質・コスト競争力を高めるため内製化

主な製造工程

鍛造



プレス加工



口絞り加工



ねじ加工



洗浄



アルミニウム製容器



アルミのプレス加工



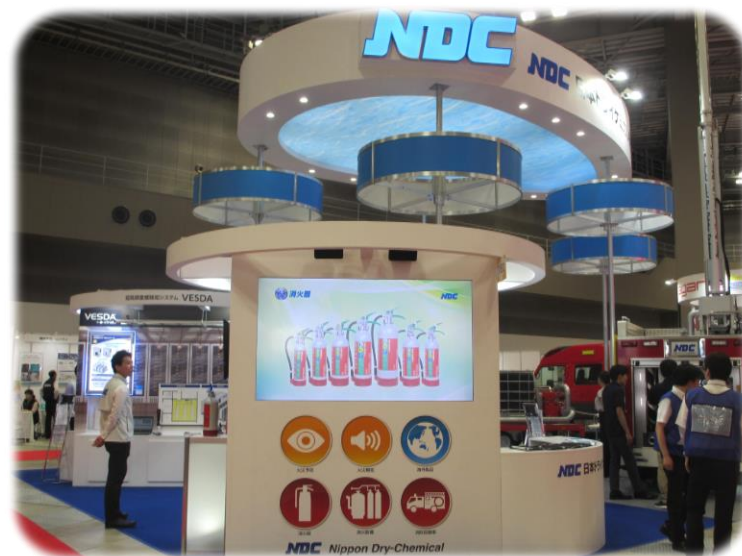
仕上げの洗浄

東京国際消防防災展2018

NDCオリジナルの多様な高性能防災製品をPR

5年に1度の消防・防災の展示会に出展！！
来場者・出展者ともに過去最多となり、大盛況でした。

日時：平成30年5月31～6月3日
会場：東京ビッグサイト



会社概要

商号	日本ドライケミカル株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード1909)
設立	昭和30年4月23日
所在地	東京都港区台場2-3-1 トレードピアお台場
代表者	代表取締役社長 遠山 榮一
従業員数	連結739名 (平成30年3月末現在)
資本金	700百万円 (平成30年3月末現在)
連結売上高	32,622百万円 (平成30年3月期)
事業所	札幌、東北、関東、東京、名古屋、北陸、大阪、九州
製造部	千葉、福島
連結子会社	北海道ドライケミカル株式会社 日本ドライメンテナンス株式会社 株式会社総合防災 株式会社始興金属

ご清聴ありがとうございます

本資料には当社の経営戦略などが記載されています。
これらの将来の見通しに関する記述は、現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定を必ず保証するものではありません。